LIXIL TOEX

デザイナーズパーツ Dスクリーン 縦張り 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

⚠警 告

●フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
●がけ上や高台など、転落したらケガをするおそれのある場所には、フェンスを使用しないでください。

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

●現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結器具を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
●柱と本体ジョイント部の間隔は200mm以内で施行してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●給湯機や暖房機等の熱排気が製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●ボルト, ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

＜基礎工事についてのご注意＞

⚠ 注 意

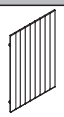
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●指定基礎寸法は必ず守ってください。
●柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
●柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。

■梱包明細表

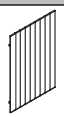
【1】リアル木彫平板 本体

名　　称	略　図	員　数
本体パネル		1
【1-1】φ4×25 ナベドリルネジ		4

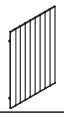
【2】平板 本体

名　　称	略　図	員　数
本体パネル		1
【2-1】φ4×25 ナベドリルネジ		4

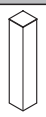
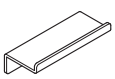
【3】リプル平板 本体

名　　称	略　図	員　数
本体パネル		1
【3-1】φ4×25 ナベドリルネジ		4

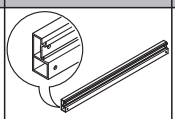
【4】平板＋角面材 本体

名　　称	略　図	員　数
本体パネル		1
【4-1】φ4×25 ナベドリルネジ		4

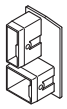
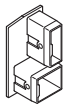
【5】70角柱

名　　称	略　図	員　数
柱		1
胴縁受け金具		2
【5-1】φ4×13ナベドリルネジ		4

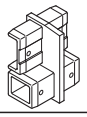
【6】胴縁ベースセット

名　　称	略　図	員　数	
		W20	W40
胴縁ベース		2	2
【6-1】φ4×30ナベドリルネジ		4	6

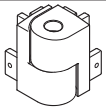
【7】胴縁キャップセット

名　　称	略　図	員　数
胴縁キャップ RH		2
胴縁キャップLH		2
注意シール	–	1
【7-1】φ4×10トラスタッピンネジ 1種		8
取付説明書〈C410〉	–	1
取扱説明書〈UC007〉	–	1

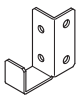
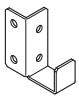
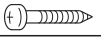
【8】胴縁ストレート継手セット

名　　称	略　図	員　数
胴縁ストレート継手		2
【8-1】φ4×10 トラスタッピンネジ 3種		8

【9】胴縁自在コーナー継手セット

名　　称	略　図	員　数
胴縁自在コーナー継手		2
【9-1】φ4×10 トラスタッピンネジ 3種		8

【10】胴縁壁付け部品セット

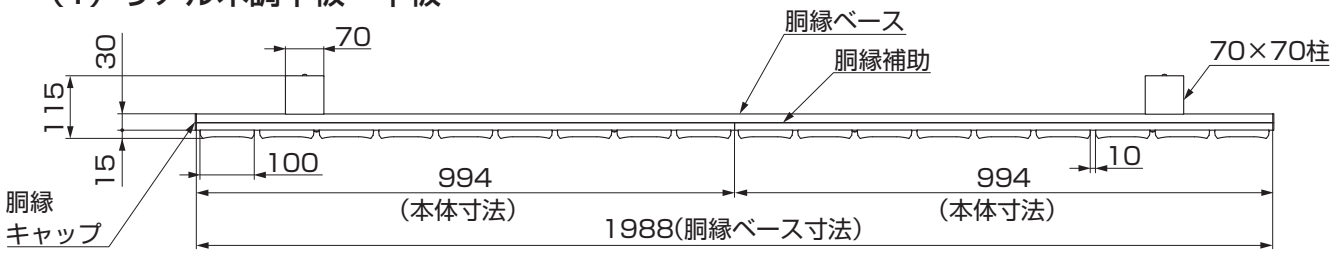
名　　称	略　図	員　数
胴縁壁付け金具RH		1
胴縁壁付け金具LH		1
注意シール	–	1
【10-1】φ5×12トラス タッピンネジ 1種		4
【10-2】フィッシャープラグ		4
【10-3】M5平座金		4
【10-4】φ4.8×45ナベ木ネジ		4
【10-5】M6平座金		4
【10-6】φ6×70十時穴付き 六角コーチスクリュー		4
取付説明書〈C410〉	–	1
取扱説明書〈UC007〉	–	1

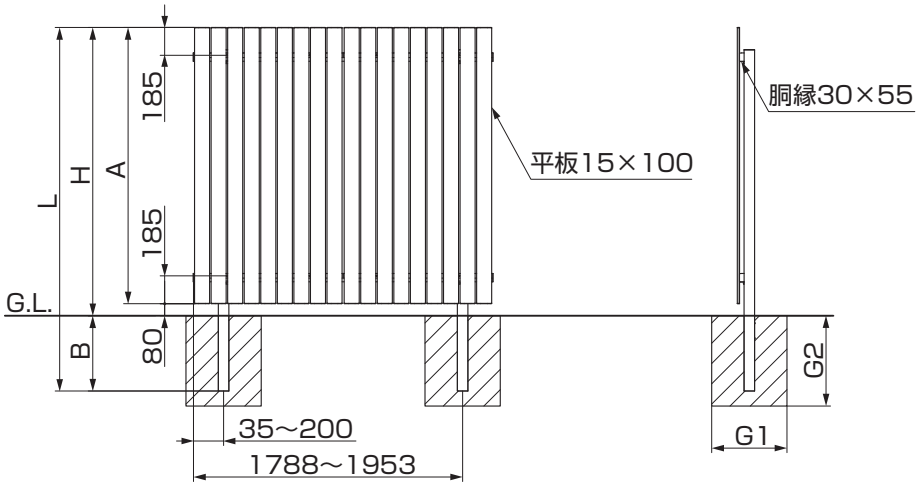
C410_201102A

1. 基本寸法と各部の名称

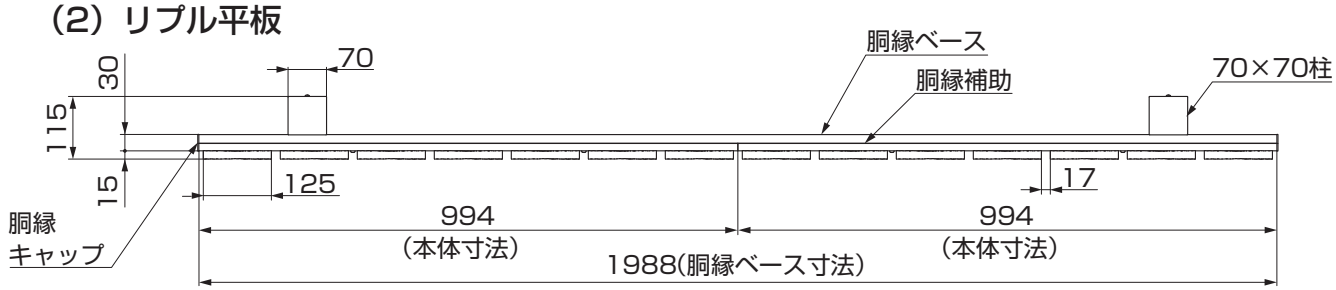
1-1 面材タイプ別 基本寸法と各部の名称　※図はW20の場合を示します。

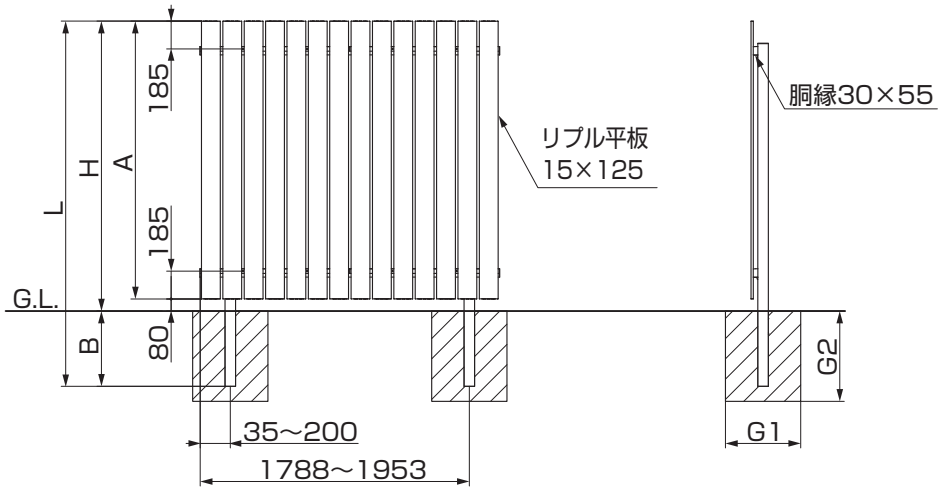
（1）リアル木調平板・平板





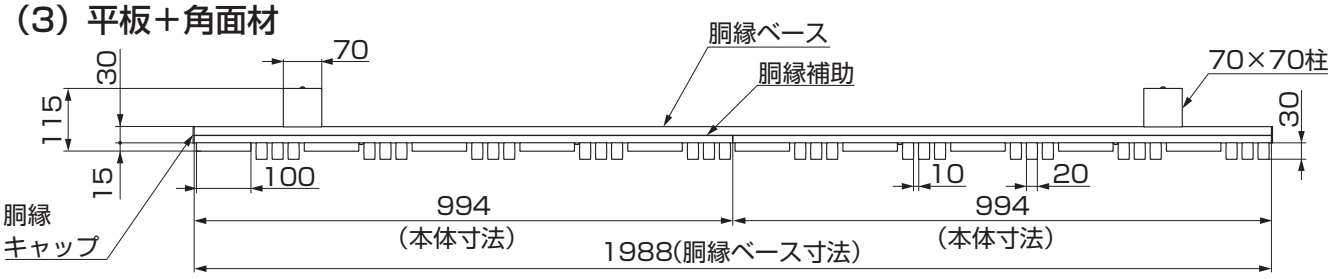
（2）リプル平板

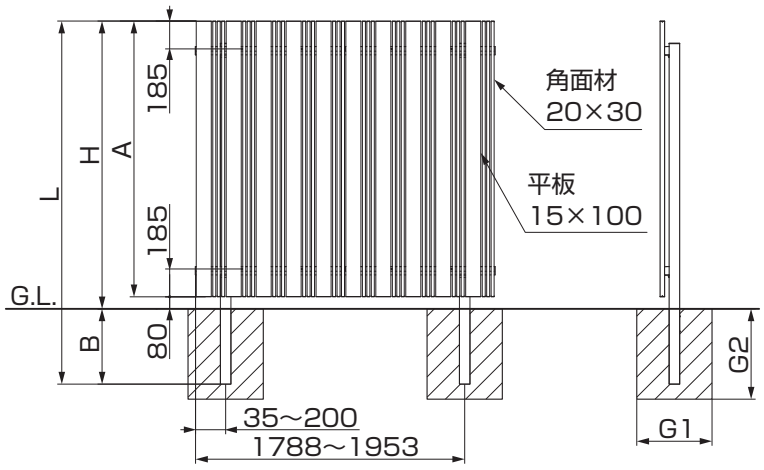




C410_201102A

(3) 平板＋角面材

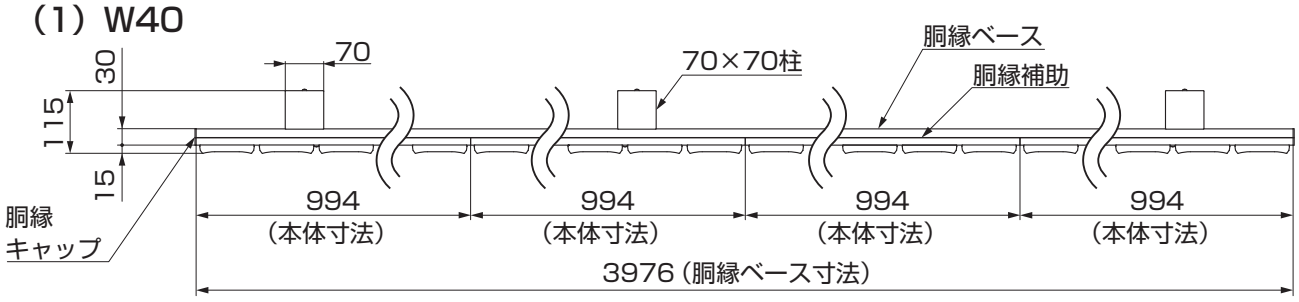


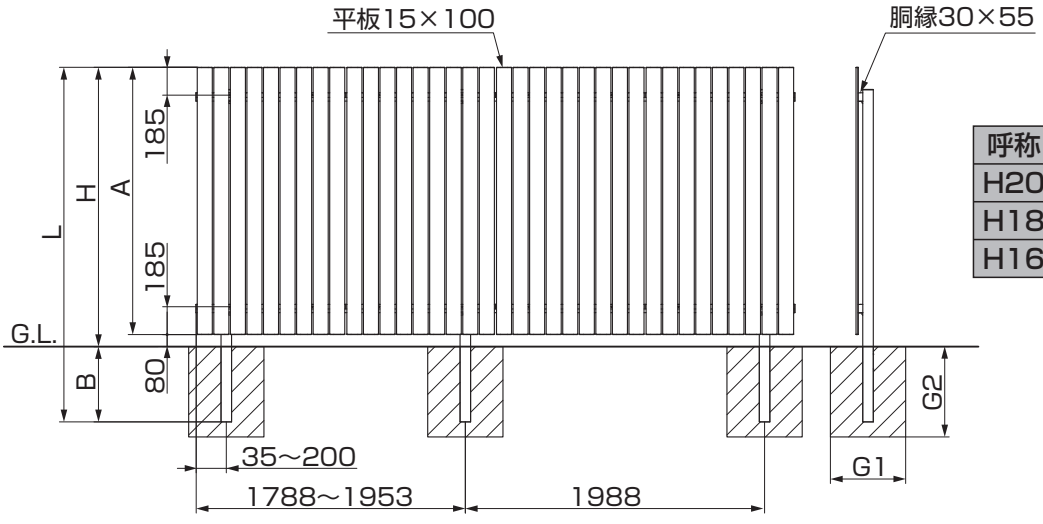


呼称	H	A	L	B	G1	G2
H20	2000	1920	2500	500	600	500
H18	1800	1720	2250	450	600	450
H16	1600	1520	2050	450	500	450

1-2 サイズ別 基本寸法と各部の名称　※図はリアル木調平板を示します。

(1) W40





呼称	H	A	L	B
H20	2000	1920	2500	500
H18	1800	1720	2250	450
H16	1600	1520	2050	450

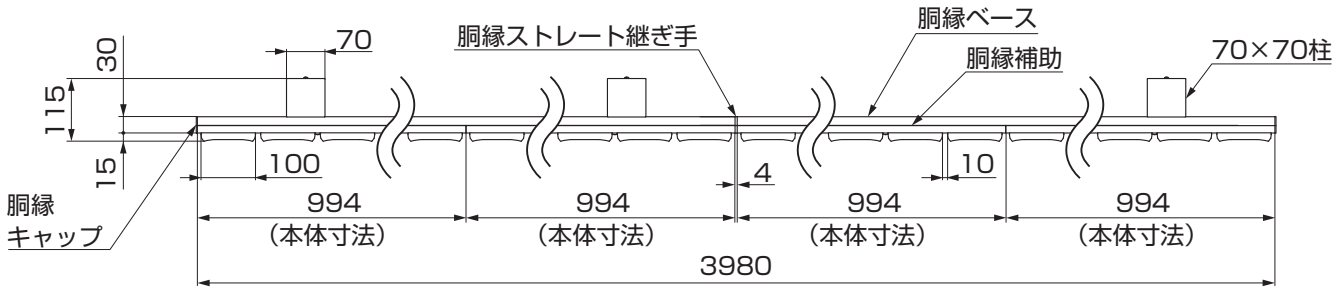
呼称	G1	G2
H20	600	500
H18	600	450
H16	500	450

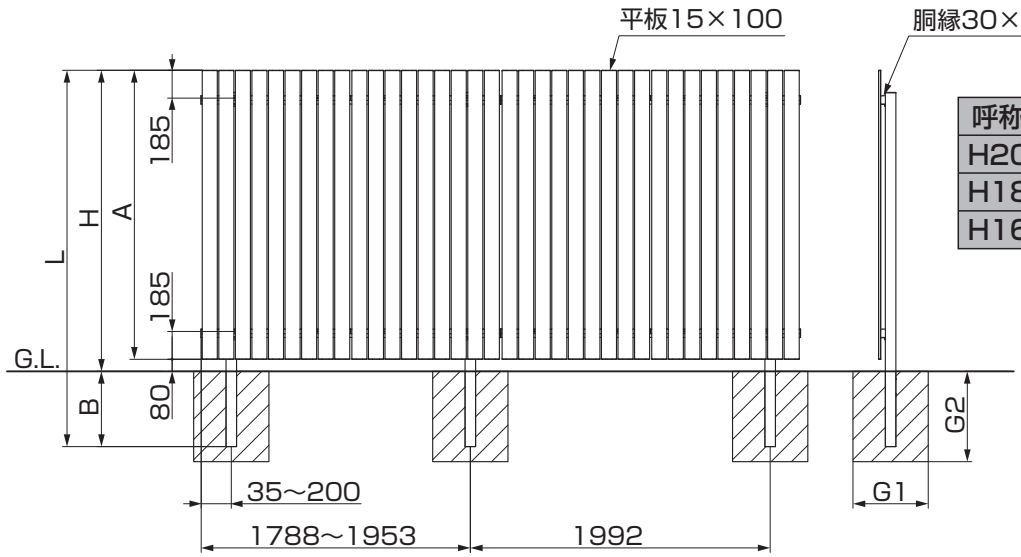
C410_201102A

1.（つづき）

1-2 つづき

（2）ストレート継手

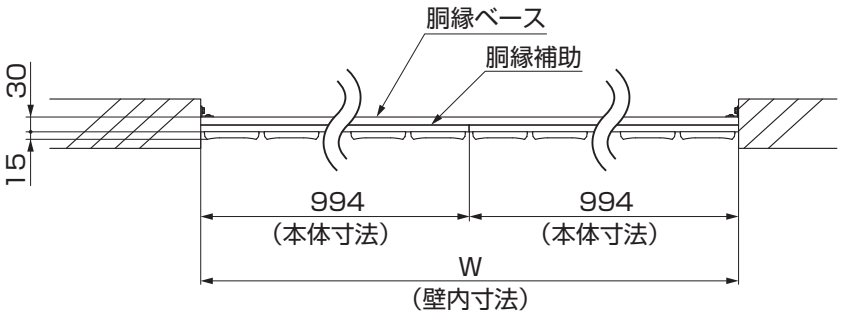


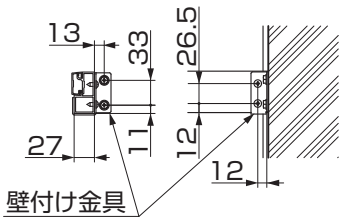


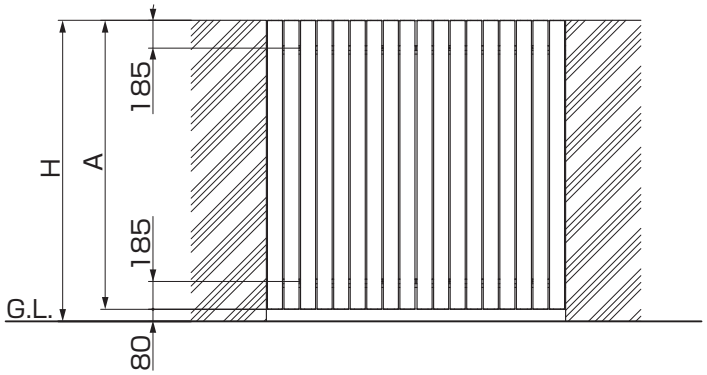
呼称	H	A	L	B
H20	2000	1920	2500	500
H18	1800	1720	2250	450
H16	1600	1520	2050	450

呼称	G1	G2
H20	600	500
H18	600	450
H16	500	450

（3）壁付施工





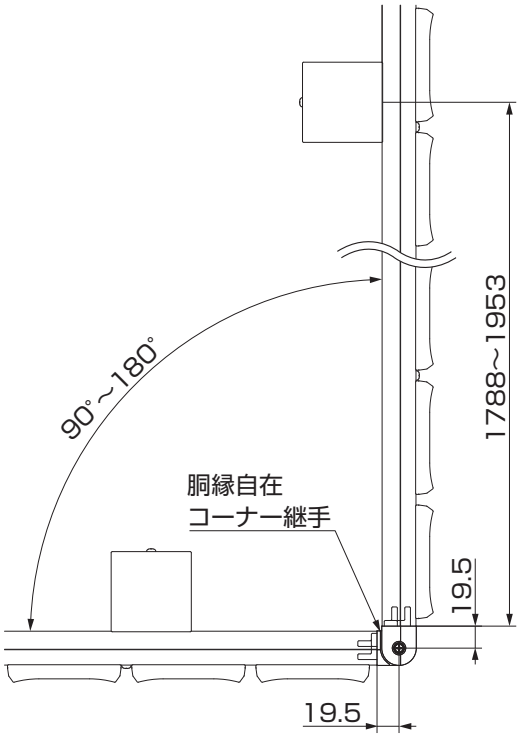


呼称	H	A	B
H20	2000	1920	1517
H18	1800	1720	1317
H16	1600	1520	1117

呼称	W
W20	1988
W40	3976

C410_201102A

（4）コーナー継手

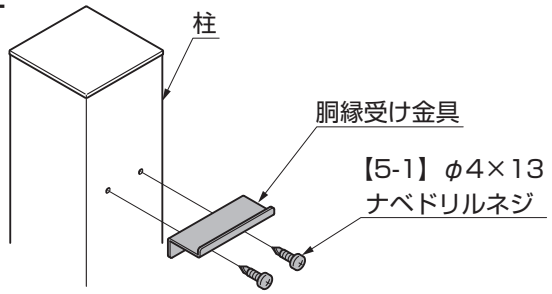


メモ

2. 胴縁の取付け

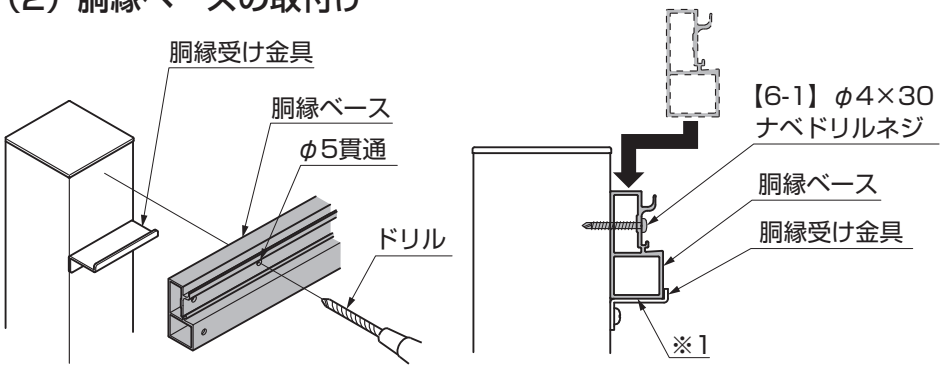
2-1　柱取付け施工の場合

（1）胴縁受け金具の取付け



①胴縁受け金具を柱の上下に【5-1】で取付けてください。

（2）胴縁ベースの取付け

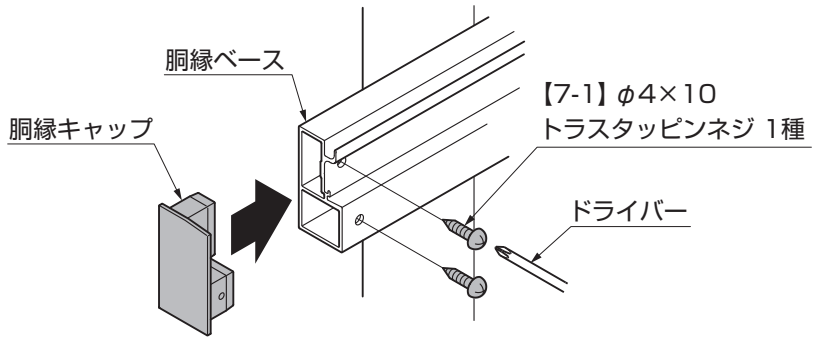


①胴縁ベースを胴縁受け金具の上にセットし、位置を確認して胴縁ベースにφ5の下穴を貫通してください。
②胴縁ベースを柱に【6-1】で取付けてください。

ポイント

●胴縁受け金具と胴縁ベース間にすき間がないことを確認し取付けてください。（※1）

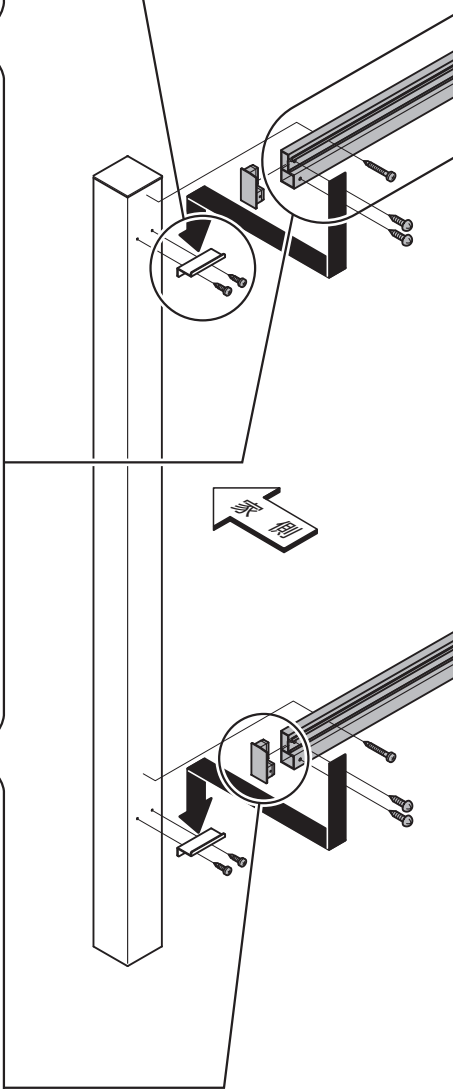
（3）胴縁キャップの取付け

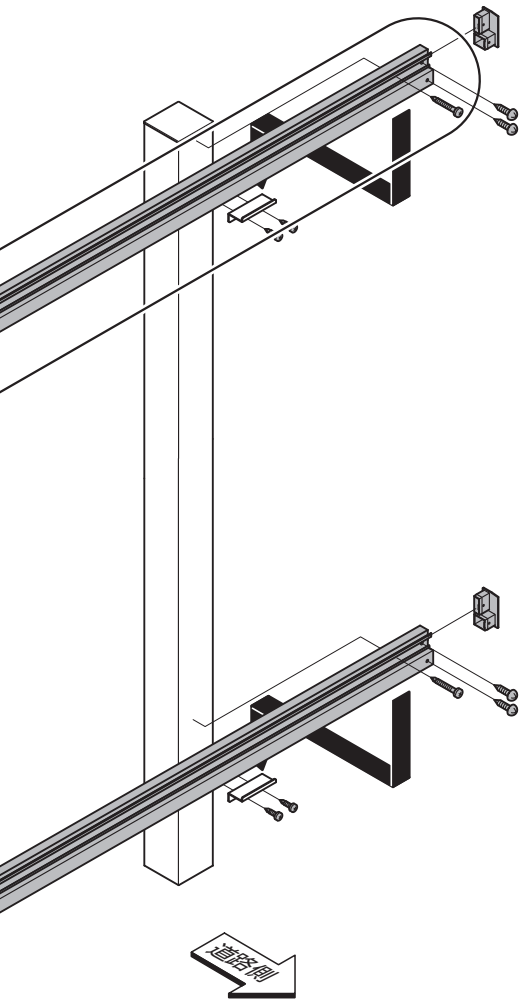


①胴縁キャップを胴縁ベースにはめ込み、【7-1】で取付けてください。

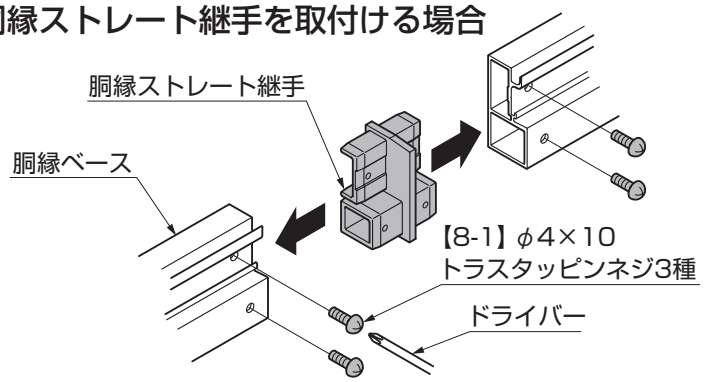
ポイント

●【7-1】を締め込む時は、ドライバーで手締めしてください。締めすぎるとネジが効かなくなるおそれがあります。





（4）胴縁ストレート継手を取付ける場合

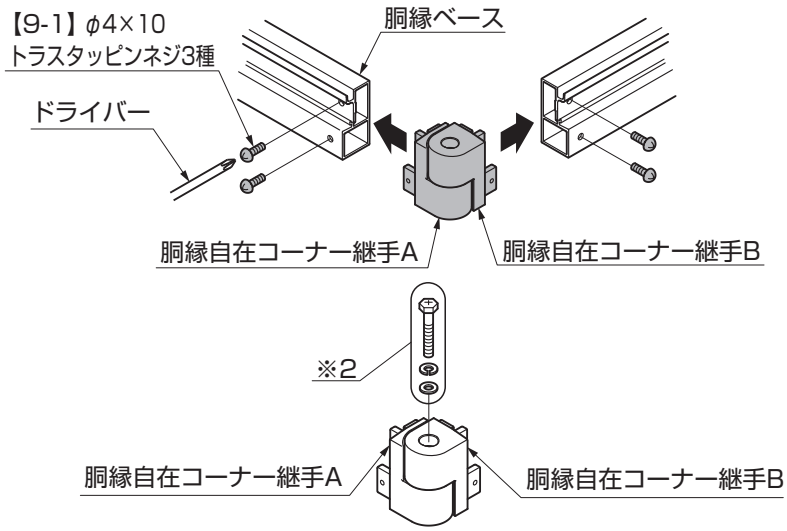


①胴縁ストレート継手を胴縁ベースにはめこんでください。同時に胴縁ベースを胴縁受け金具の上にのせてください。
②胴縁ストレート継手を胴縁ベースに【8-1】で取付けてください。

ポイント

●【8-1】を締め込む時は、ドライバーで手締めしてください。締めすぎるとネジが効かなくなるおそれがあります。

（5）胴縁自在コーナー継手を取付ける場合



①胴縁自在コーナー継手A/Bを胴縁ベースにはめ込んでください。同時に胴縁ベースを胴縁受け金具の上にのせてください。
②胴縁自在コーナー継手A/Bを胴縁ベースに【9-1】で取付けてください。
③全て正しく施行していることを確認した後（※2）のボルトで胴縁自在コーナー継手を固定してください。

補 足

●胴縁自在コーナー継手A/Bは※2で仮固定されています。
●胴縁自在コーナー継手A/Bを※2で仮固定した後、胴縁ベースを柱に固定してください。

ポイント

●【9-1】を締め込む時は、ドライバーで手締めしてください。締めすぎるとネジが効かなくなるおそれがあります。

2.（つづき）

2-2　壁付け施工の場合

ポイント

●胴縁ベースW40使用の場合は、柱（※1）が必要となります。「2-1 柱取付け施工の場合」を参照してください。
●「2-1 柱取付け施工の場合」を参照して胴縁受け金具と胴縁ベースを柱（※1）に取付けてください。

（1）壁付け部品取付け位置の確認

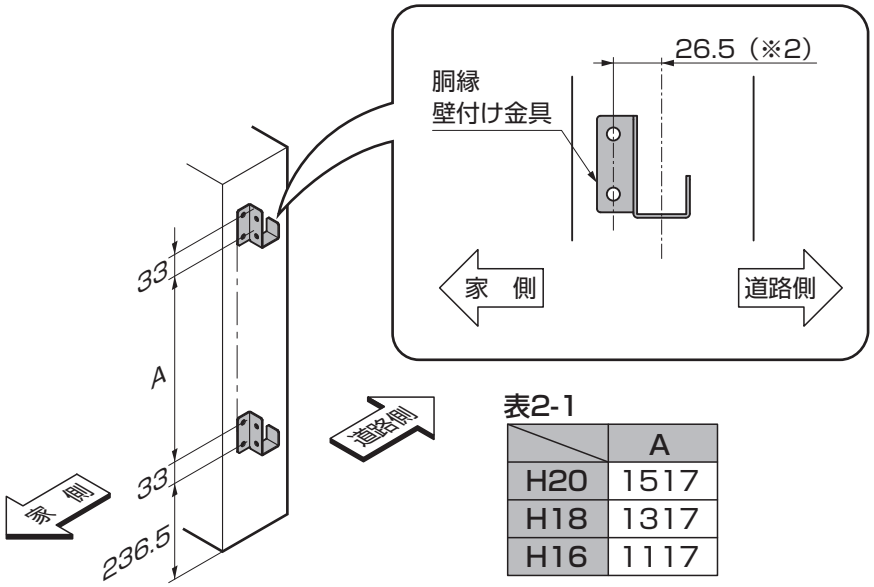


表2-1

	A
H20	1517
H18	1317
H16	1117

①胴縁壁付け金具の取付け位置を確認してください。

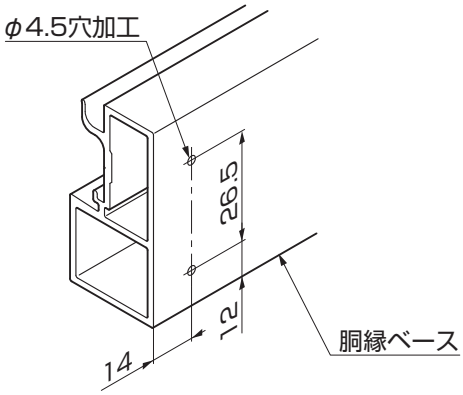
補 足

●※2は壁厚150mmの場合にスクリーンが中央に取付く位置を示しています。

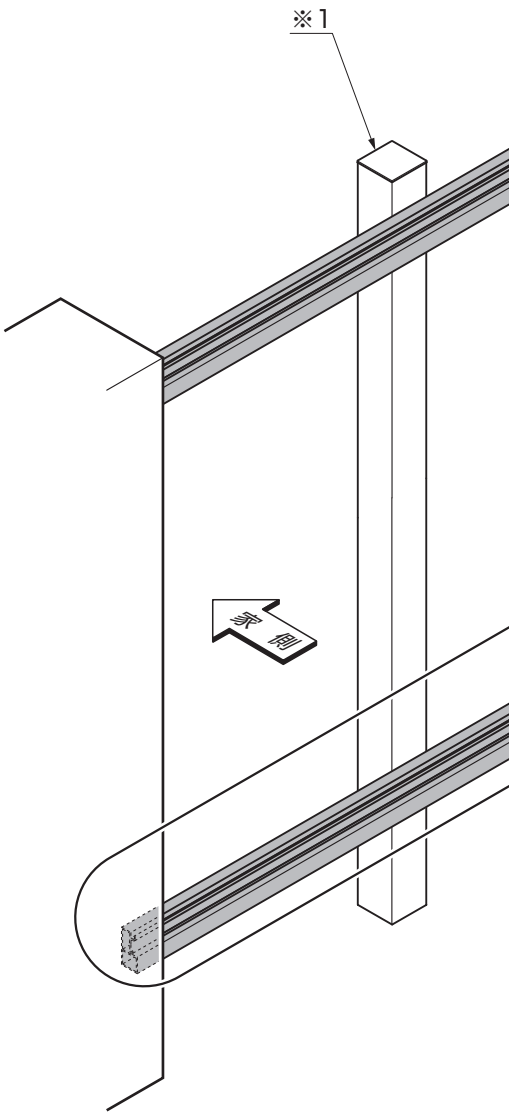
ポイント

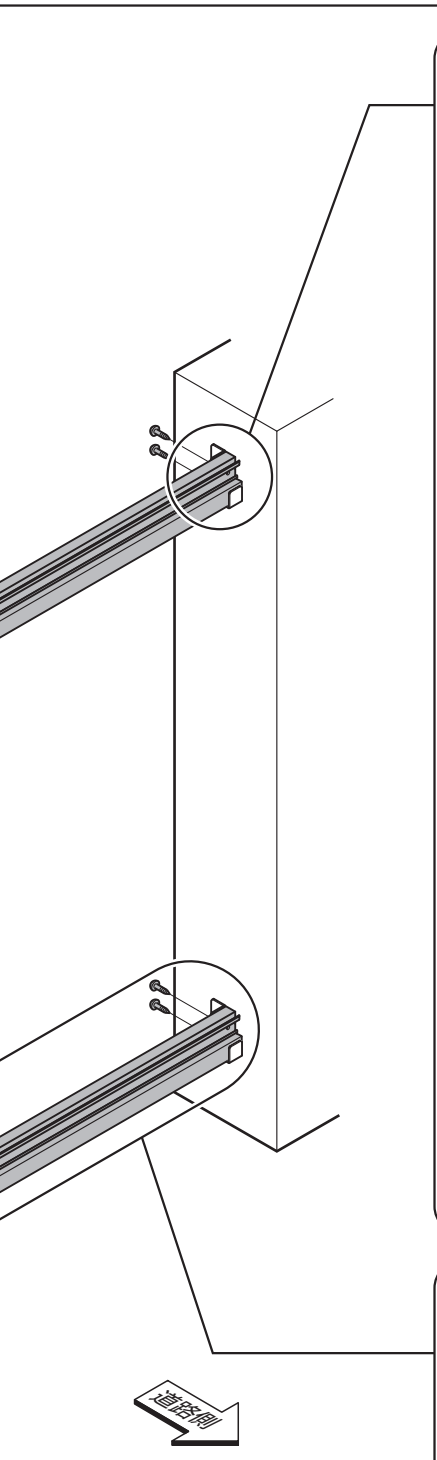
●胴縁壁付け金具の取付く位置に充分な強度があることを確認してください。

（3）胴縁ベースの加工



①胴縁ベースの左右にφ4.5の穴加工を行なってください。





(2) 壁付け部品の取付け

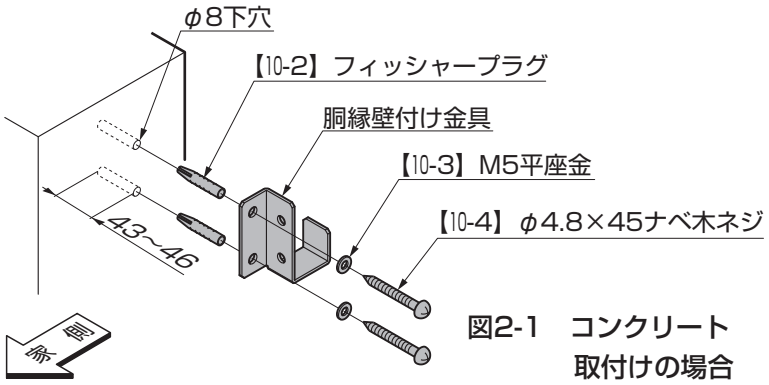


図2-1　コンクリート取付けの場合

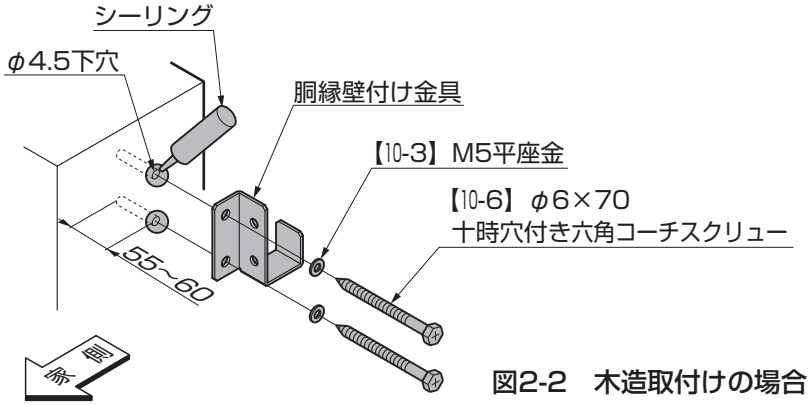


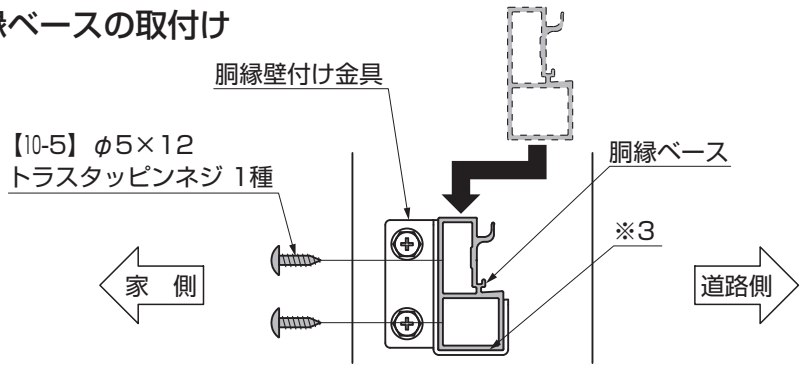
図2-2　木造取付けの場合

①取付ける材料に合わせた部品で壁付け部品を取付けてください。

⚠注 意

- ●指定のφ8より大きい穴をあけると、フィッシャープラグが抜け易くなり、本体パネルが外れるおそれがあります。
- ●壁に有効深さ43~46mmの穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグおよびネジの使用は、仕上げ材の厚みが10mm以下の場合としてください。10mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。

(4) 胴縁ベースの取付け



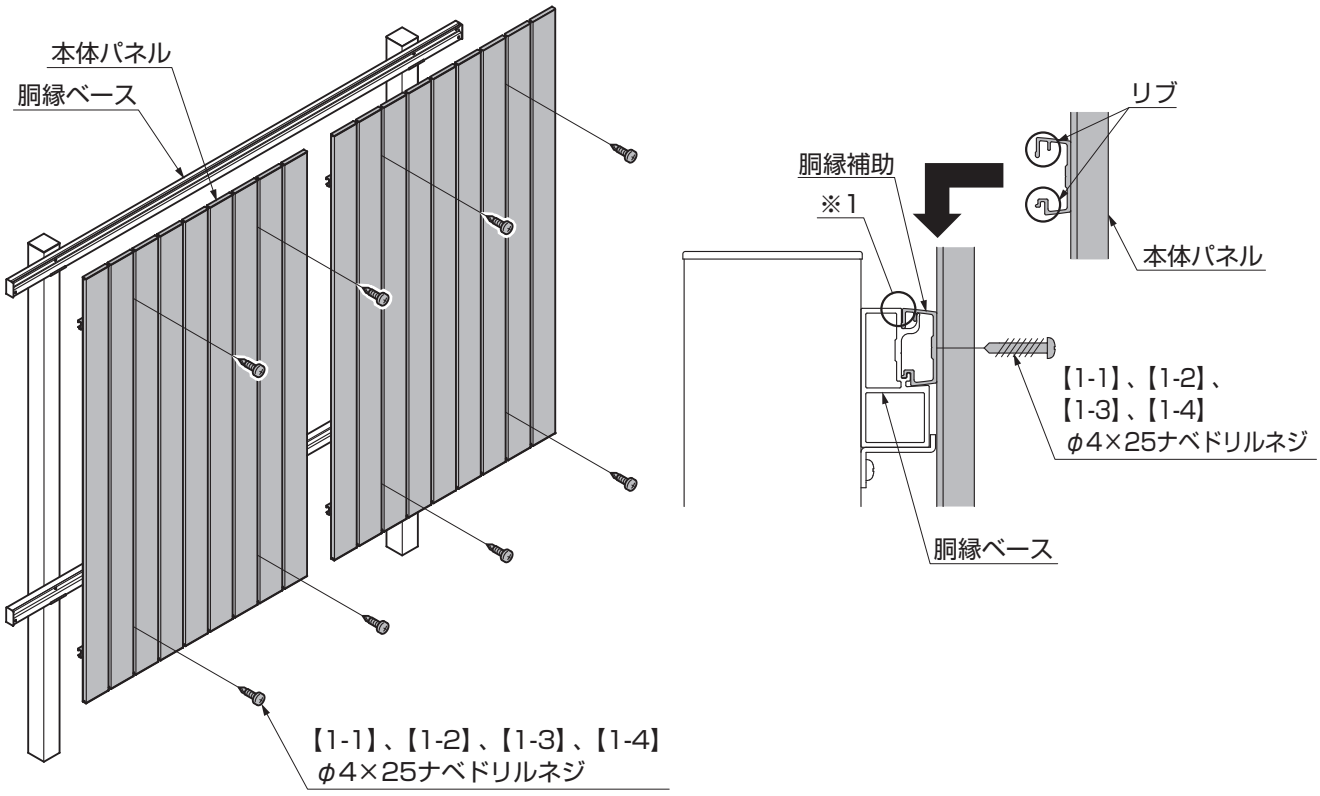
①胴縁ベースを壁付け金具に【10-5】で取付けてください。

ポイント

- ●胴縁壁付け金具と胴縁ベース間にすき間がないことを確認し取付けてください。(※3)

C410_201102A

3. 本体パネルの取付け



①本体パネルの胴縁補助のリブを胴縁ベースの溝にはめ込んでください。
②胴縁補助の上下の2本にあるφ5の穴を使用して、胴縁ベースに【1-1】、【1-2】、【1-3】、【1-4】で取付けてください。

ポイント

●胴縁ベースと胴縁補助部材間にすき間や段差がないことを確認し取付けてください。(※1)

4. 注意シールの貼付け

□枠内のシールをフェンス家側の目立つ位置に貼ってください。

フェンスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

①必ず注意シールをパネル本体または柱の家側の目立つ位置に貼ってください。

ポイント

●注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

取説コード
C410

JZZ622089B
201102A_1039
201210C_1039